



今さらの話題ですが、今年の干支は卯(うさぎ)です。うさぎは穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」や「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物」の成長という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適とされています。(先日開催された市小中学校長会議での安足教育事務所長のあいさつを引用)

まだコロナ第8波の渦中にありますが、先週は第2学年のスキー宿泊学習が何とか3年ぶりに実施できました。「学校における新しい生活様式」の下での実施であり様々な配慮が必要でしたが、徐々に通常に戻ってきたことが感じられた行事でした。

そこで卯年にあやかり、生徒にとってこの一年が大きな飛躍の年となることを願っています。

◇第2学年スキー宿泊学習

第2学年スキー宿泊学習が1月11日(水)から13日(金)までの日程で、福島県猪苗代町にある箕輪スキー場(宿泊はホテルプルミエール箕輪)で実施されました。前述のとおり3年ぶりの実施でした。

今回のスローガンは、「スキーで結ぼうみんなの絆 立志で描こう自分の未来～2023 次のステップ～」でした。

生徒たちはこのスローガンの下、スキー体験に熱心に取り組むとともに、2日目の夜に行われた立志式では、自分自身の成長を振り返り、これからの生き方への希望を確かめ、さらにはこれまで温かく見守ってくれた家族などへの感謝の気持ちを深めることができました。

【活動の様子を紹介します】



【立志式校長式辞から星野富弘さんの話】（式では教頭代読）

人には誰にも良い点があります。得意な面があります。しかし、自分については知っているようでもあり、分からないようでもあり、自己を理解することは意外に難しいことです。

有名な画家で詩人の星野富弘さんは、もとは隣の群馬県で中学校の体育の先生をしていました。ある日、クラブ活動の指導中に転倒して頸椎を損傷し、手足の自由を失ってしまいました。星野さんが今まで夢にも知らなかった詩人としての才能を発見したのは、その不幸な事故があってからのことだそうです。

手足が動かないため、口に筆をくわえ絵を描き、詩を書き、たくさんの画集や詩集を出版し、地元の群馬県みどり市には、星野富弘美術館が開館しました。

皆さんにも星野さんのように自分の知らない自分があるかも知れません。それらを伸ばしたり発見したりするにはどうしたらよいのでしょうか。それは、人との交わりの中で経験や努力を通して可能になることだと思います。

こんな言葉があります。

**私がもう一歩がんばれば、もう少し余裕をもてれば、
自分の中の眠っている力が、きっと顔を出してくる**

生徒の皆さんが今、新たに立てた立志の誓い、そして、それぞれの夢を目標に変え、その実現に一步近づけるには、人との交わりの中で経験や努力を積み重ねることが何より大切です。

「努力」という平凡な言葉の中には、限りない真実が隠されています。この真実を発見する時、輝かしい明日は皆さんの手の中にあり、容易にその懐に飛び込むことができるのです。

皆さんが志を立て、大きく飛躍していくことを期待します。

◇新型コロナウイルス感染症に加えインフルエンザ流行の兆しあり

現在、コロナ8波の真っ只中にあり、今週は本校でも臨時休業となった学級がありました。一方、季節性インフルエンザ流行の兆しもあり、先週は市内小中義務教育学校 10 校で、延べ 50 人以上の児童生徒が感染したことが確認されています。

つきましては、以下の感染症対策について改めて確認を願います。

○ご家庭でも基本的な感染対策を油断せずに行うようお願いします。

○生徒自身に発熱や体調不良の症状が見られる場合は、登校を控え、医療機関の受診をお願いします。

○生徒自身に症状が見られないが、同居の家族に発熱や体調不良の症状が見られる場合は、その家族が医療機関を受診した結果を踏まえ、生徒の登校についてご判断ください。